

環境に係る情報協議会

国営かんがい排水事業 北見二期地区

1. 環境に対する考え方

(「北見市田園環境整備マスタープラン」から)

《農村環境の現状と課題》

【現状】

北見市内の森林面積は94,873haで、市のおよそ66%が森林に覆われていることになり、長い年月をかけて形成されてきた天然林には独自の生態系が形成され、貴重な動植物の宝庫となっている。

【課題】

森林の機能を十分に発揮できるよう、中核都市としての役割とバランスを保ちながら、森林環境を維持・保全していくことが今後の課題となっている。

《環境保全の基本的考え方》

・豊かな自然を、開発事業などとのバランスを保ちながら保全し、次世代に継承していく。

・農業・農村のもつ土地や自然環境の保全、憩いの場の提供、文化の伝承などの多面的機能を高め、地域の活性化を図る農業を推進する。

2. 環境配慮のための環境調査

《基本方針》

【調査位置の考え方】

本地区の整備構想で地域環境に影響を与えるのは、端野、相内、豊北区域における用水施設(ファームポンド、パイプライン)の新設であるため、それぞれの区域における調査位置を決定する。

【調査項目の考え方】

既往調査結果を活用するとともに、事業にて整備を行う区域で調査が行われていない項目について調査を実施する。

《環境調査内容》

○調査項目	①哺乳類 ②鳥類 ③魚類 ④両生・は虫類 ⑤昆虫類 ⑥底生動物 ⑦植物 ⑧水質
○調査方法	哺乳類 : フィールドサイン法、目撃法 鳥類 : ラインセンサス法、定点観察法 魚類 : 採捕調査 両生・は虫類 : 目撃法 昆虫類 : 任意採集法、ベイトトラップ法 底生動物 : 定性採集法 植物 : 植物相調査 水質 : SS、濁度